財団の事務局体制

当財団では、平成19年４月１日付けで人事異動を行い、新たな事務局体制で各事業を実施いたします。

専務理事	中村　彰
常務理事	板倉　克芳
統合審議役	坂本　悦二
審議役	藤本　潤也
審議役	家次　昭
審議役	小中　富雄

企画総務部

部長	川北　保一
・総務・経理グループ	
参事・グループ長	中村　猛
主幹	三枝真喜子
主幹	小寺　祐人
・企画広報グループ	
主幹・グループ長	豊田　英孝
主幹	坪内　貴子
・北部支所	
支所長	土出　敏彰
業務推進役	村上　光一
特別相談員	前田　勝彦
・けいはんな支所	
支所長	金田　修

経営革新部

部長	宮野　欣一
・経営企画グループ	
主幹・グループ長	後守　祐二
参事	田畑　淳
主幹	足立　貴雄
主幹	小倉　丈寿
・経営改革推進グループ	
参事・グループ長	辻　一幸
主幹	小早川健一
主幹	園田　範之
主任	魚島　和晃
業務推進役	山田　儀治
業務推進役	岡部　信
・お客様相談室	
室長	井上　茂
参事	前谷　光男
主任	吉田　忠嗣
経営相談員	江川　宗治
ビジネススーパーバイザー	館林　浩
	福田　治郎
	竹田　眞人
・海外ビジネス・チャレンジネットワーク	
業務推進役	松田　郁夫

事業推進部

部長	駒　忠恭
・市場開拓グループ	
次長・グループ長	石田　豊
主幹	鳴海　勢介
主幹	安東　正浩
主任	今若　雅彦
特別相談員	返町　眞次
・設備導入支援グループ	
主幹・グループ長	小嶋　秀和
主任	田村　浩二
主事	廣田　幹代
業務推進役	富田　修

連携推進部

部長	徳田　秀明
次長（㈱京都試作センター出向）	森西　栄治
・企業連携グループ	
参事・グループ長	岡市　広行
主幹	藤田　一
主幹	古郷　彰治
主幹	安井　久典
主任	内田　真人
主任	鈴木　陽介
主任	高田　亮平
・産学公・ベンチャー支援グループ	
審議役・グループ長	小中　富雄
主幹	巽　健次
主幹	岡田　宏一
主幹	加藤　久幸

退任（３月31日付け）

企画総務部	
部長	村山　芳登
北部支所長	嶋田　勇
経営革新部	
部長	岡嶋　修司
グループ長	田中　力
業務推進役	大西　隆
お客様相談室	
ビジネススーパーバイザー	伊藤　友二
連携推進部	
グループ長	田平　照雄
副主任	堀　将季
主事	田中　光男

退任（３月14日付け）

主任	所川　晋吾

退任（２月20付け）

統合審議役	延廣　正治

ISHIDA
計る・包む・検査する
トータルソリューションのイシダ。
イシダは、計量技術を核に、生産から物流、流通などのあらゆる分野に、先進の技術と豊富な経験でお客様を総合的にサポート。確実なメリットをお約束します。

株式会社イシダ
■お問い合せは
本　社／京都市左京区聖護院山王町44番地　〒606-8392　TEL.（075）771-4141　http://www.ishida.co.jp

平成19年 割賦販売・リース制度の料率を据え置きます!!

連帯保証人は、原則1名で申込みを受付けます!

企業の皆様が必要な設備を導入する場合に、その設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ低利で割賦販売またはリースする制度です。
詳しくは、設備導入支援グループまでお問い合わせください。

〈ご利用のススメ〉
■信用保証協会の保証枠外、金融機関借入枠外で利用できるので、運転資金やその他の資金調達に余裕ができます！
■割賦損料率・リース料率は固定なので、安心して長期事業計画が立てられます！

区　分	割賦販売	リース
対象企業	原則、従業員20人以下(ただし、商業・サービス業等は、５名以下)の企業ですが、最大50名以下の企業も利用可能です。その場合、一定の制限がありますので詳しくはお問い合わせください。 [事業実績が１年未満の場合は、原則として商工会議所、商工会、商工会連合会の経営指導員による経営指導を６ヶ月以上受けていることが条件になります。]	
対象設備	機械設備等(土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外)　新品に限ります。 リースの場合は、再販可能なものに限ります。(オーダー製品、構造物に付随するもの等は対象外)	
対象設備の金額(消費税込)	事業実績が１年以上あれば100万円～6,000万円／年度まで利用可能です。 [事業実績が１年未満の場合は、50万円～3,000万円／年度]	
割賦期間及びリース期間	７年以内(償還期間) (ただし、法定耐用年数以内)	３～７年 (法定耐用年数に応じて)
割賦損料率及び月額リース料率	年2.50% (設備価格の10%の保証金が契約時に必要です)	3年2.990%　4年2.296% 5年1.868%　6年1.592% 7年1.390%
連帯保証人	■原則、法人企業の場合は、代表者１人(年齢が満70歳以上の場合は、原則後継者を追加してください) 個人企業の場合は、申込者本人を除き1人でお申し込みいただけます。 ■なお、審査委員会で、追加連帯保証人・担保を求められることがあります。	
設備導入時期	審査委員会は、原則月１回開催しています。 当月15日までにお申し込みいただくと翌月の審査委員会に上程します。 お申し込みから設備導入日(契約日)まで約50日かかります。(お急ぎの場合は、ご相談ください)	

THE NEW VALUE FRONTIER
KYOCERA

地球のために、
そこに生きる生命のために
京セラだからできること。

京セラは、環境保全産業の一つとして30年前から
ソーラーエネルギー事業に取り組んでまいりました。
誰もが享受できるクリーンなエネルギー源として、
世界中から注目されるソーラー発電。
数々の新技術によってその発展に貢献してきた京セラは、
ソーラー発電のリーディングカンパニーとして
未来を担う新エネルギーを支えています。

駐車場の屋根に取り付けられた太陽電池パネル。
「ソーラー・グローブ」と命名した"太陽電池の森"は、
現地の住宅68世帯相当分の電力をまかないます。
(米国・サンディエゴ)

京セラ株式会社　〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6　www.kyocera.co.jp
SOLARは京セラ

お客様の声

刺繍の風合いにこだわって 手描きによる独自のプログラムを制作

三友工業株式会社
代表取締役　髙間 正夫 氏

所在地●京都市山科区音羽初田町29の32
ＴＥＬ● 075-593-7754
ＦＡＸ● 075-593-3728
業　種●刺繍プログラム制作、刺繍加工

●事業内容について

当社は主に刺繍メーカーより、刺繍プログラムの制作から刺繍加工までを一貫して受注しています。刺繍プログラムとは織物でいうところの「紋紙」ですが、図柄にどうステッチを入れていくのか指示したものです。一昔前はパンチカードを使っていましたが、現在はデジタル化し、「デジタイザー」という入力装置やパソコンを使って制作しています。当社は創業以来、主に和装や法衣の刺繍を扱ってきましたので、繊細なステッチの和柄を得意としています。

●風合いにこだわる

刺繍ソフトには「工業用刺繍デザインソフトウェア」という基本ソフトが市販されています。この基本ソフトで刺繍プログラムは制作できますが、どうしても刺繍の仕上がりが平板になってしまう。しかし私は長年、和装関連の刺繍を手がけてきましたので、「風合い」にこだわっていまして、基本ソフトに対し、デジタイザーを使って新たに手描きで一つ一つステッチの指示を描き加えています。パソコン上でグラフィカルに描き加えることも可能ですが、風合いを出すためには手描き線によるステッチの指示が重要なのです。風合いとは具体的にいうならば、刺繍の立体感（色のボリューム感）。刺繍糸は光の当たり具合で色の見え方が変わってきますが、それを左右するのは針の入れ方です。つまり、微妙なステッチを入れることによって立体的に見せることができるのです。

このためお客様からは、当社の刺繍は「何かが違う」と好評いただいております。一針一針刺すハンドメイドでは量産が追いつきませんが、かといってコストの安い中国製では風合いがない。コスト・量産・風合いのバランスをとってお客様にご提供するのが当社の仕事だと思っています。

●設備貸与制度を利用して

（財）京都産業21の設備貸与制度を利用するのは今回で２回目です。１回目は、刺繍プログラム制作だけでなく刺繍加工も手がけていこうと多頭電子刺繍機を導入した時でした。その当時はバブル崩壊後で、資金調達が難しい時期だったのでこの制度は本当に助かりました。今でも感謝しています。そして、今回は当社のかなめである「デジタイザー」とパソコン一式の更新です。

設備貸与制度の最も良いところは、余計な気を使わなくてもよく、精神的な負担が無いということです。毎月の支払いさえすれば、あとは前を向いて仕事に邁進できる。お世話になっている職員さんからも応援していただいており、とても有難いですね。

今後は、最近注文が増えてきているタオルや小物など雑貨類の刺繍も積極的にメーカーに提案していきたいと思っています。

▲「デジタイザー」でステッチを描き入れる髙間社長

▼孔雀と花をモチーフにした美しい刺繍作品（部分）

【お申し込み・お問い合せ先】 （財）京都産業２１ 事業推進部 設備導入支援グループ　TEL：075-315-8591　FAX：075-323-5211　E-mail：setubi@ki21.jp

TOSE SOFTWARE

地球のココロおどらせよう

ゲームソフトから
モバイルコンテンツまで
多彩なデジタルエンターテイメントを
創造し、広く社会に貢献します。

株式会社トーセ
〒600-8091京都市下京区東洞院通四条下ル
TEL.075-342-2525 FAX.075-342-2524
事 業 内 容…◎ゲームソフト企画・開発　◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営
グループ会社…株式会社ティーネット/東星軟件(上海)有限公司/東星軟件(杭州)有限公司/Tose Software USA,Inc.
ホームページ　http://www.tose.co.jp/　〈証券コード4728、東証・大証一部上場〉

「挑戦と進化」が夢を引きよせる!
ベノック株式会社

今回は、大阪芸術大学卒･元証券マンというユニークな経歴を持つモノづくりベンチャーの若手社長　奥田 潤氏(ベノック株式会社代表取締役)にお話を伺いました。

未経験分野での起業にも勝算あり

1967年生まれの奥田社長32歳の秋、製造経験を全く持たずして妻と二人三脚でベノックを創業。加工機の操作マニュアルを読みながら、金属の加工特性を考えながら、加工機と格闘し、なおかつ営業活動をしながら試行錯誤を繰り返し、がむしゃらに金属加工に取り組んで来ました。人の10倍頑張れば人の3年分ぐらいにはなる。5年もすれば必ず追いつける。そう信じて･･･

子供の頃の夢が『大きくなったらスーパーカーに乗りたい！だから社長になりたい！』だったという奥田社長は、夢のために努力するのは当たり前とニコニコしながら語ります。

もちろん、全く経験のない世界に飛び込むことに不安がなかったわけではありません。が、その当時、株価が下がらなかった企業、あるいは一時的に変動があっても回復の早かった業種であれば、まじめに努力すれば投資効果に見合うだけのものが期待できると自信を持っていたといいます。証券市場を道標に、景気の悪いときにこそ事業を起こし、人と出会い、事業を拡大する。逆風をチャンスととらえる柔軟な発想とその行動力は、証券マン時代に経営のなんたるかを学び、身の丈にあったチャンスの生かし方を知ればこその判断だったのです。

我が社の強み

ベノック株式会社は2005年2月に「3Dデータを生かした微細加工を得意とする企業」として、京都府中小企業経営革新支援法の承認を得、次世代向けの超精密加工への挑戦を行い、今春には第2工場も操業を始めるなど、着実に業容を拡大し続けています。

ベノック株式会社のモノづくりの特徴は、数値制御された工作機械に、自社オリジナルの特注刃物を用いることで職人技を機械で再現することを可能にしている点です。しかもそのためのプログラムは、これまでの受注から学んだノウハウを全てデータベース化し、自社プログラムとして活用しています。技術が未熟な分、道具(加工機)の精度を高める工夫をする。作業に不慣れな分、工程･管理プログラムを検証する。信用を高めるために積算根拠の透明性をも高めていく。

2007年問題で団塊世代の熟練者が抜けた後の「技術の継承」を課題とするものづくり企業が多い中、未経験創業者だからこその発想で、モノづくりのノウハウを可能な限りシステム化することが出来たのだと思います。また、自社の技術力を高めることを目的に実施した全数への検査表添付がお客様ニーズに的中したばかりでなく、業界慣習にはなかったサービスとして風を起こすことにもなりました。「ものづくりの匠」という分類で行けばトップ企業ではないと謙遜する奥田社長。しかし「品質の安定」には絶対の自信を誇っています。

新たなステージへ

会社の企業理念は、「常に創意工夫し技術革新に努める、既存の方法にとらわれず、自由な発想を伸ばし、常に挑戦する。」という、まさに奥田社長自身の軌跡と符合します。

今は少しでもベノック株式会社を知っていただくため、3D微細切削加工や微細放電加工を駆使し、狭ピッチコネクタ金型のコアピン加工をメインに取り組んでいますが、その瞳はもっと先を見つめています。数々の挑戦のチャンスを与えてくるお客様のオーダーに応えるモノづくりだけではなく、製造業をアシストする企業になりたい。お客様が満足できる製品をより早く、より高品質なモノが提供できるようコーディネイトする企業となることが目標と熱く語る奥田社長。ベノックの夢は、こんなささやきがモノづくりの現場で増えていくこと。

『ものづくりに困ったらベノックに相談しなよ！』

DATA

ベノック株式会社
代表取締役 奥田 潤 氏

所在地　〒601-8103
京都市南区上鳥羽仏現寺町35-2
創　業　平成11年10月
資本金　50,000千円
従業員　9名
事業内容　超精密微細金型･同部分品･付属品製造業
TEL　075-692-3355
FAX　075-692-3344
URL　http://www.benock.co.jp/

【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
企画情報室
TEL:075-315-9506　FAX:075-315-1551
E-mail:kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

京都品質工学研究会入会のご案内

ータグチメソッドで技術革新をー

高品質と高生産性を同時に実現するための技術的方法として品質工学がこの十数年間で大きく注目されるようになってきました。企業における実際の技術課題への品質工学の適用研究や品質工学の成功事例の学習などを行うことにより、経営改善に役立つ開発力向上を目的とした研究会を開催します。最初の定例会は、5月31日(木)に開催の予定です。新会員で初心者の方には別途基礎学習会を開催します。多数の方々のご入会をお待ちしています。

■品質工学とは

欧米では「タグチメソッド」として有名な品質工学は、技術開発・製品開発、生産工程設計などを効率よく進めて生産性を向上させ、また、製造上のトラブルや市場クレームのない低コスト製品を実現しうる技法です。品質工学は幅広い分野に応用が可能で、近年、パターン認識などの分野にも応用が広がっています。我が国の多くの製造業等で活用され、経営改善に大きな成果が出てきています。

■京都品質工学研究会

平成7年から研究会を開催し、毎年約30社40名程度の会員により、毎月1回、具体的な技術課題についての実験計画や実験評価などについて研究・討論を行っています。参加型の研究会を目指しています。

■平成19年度研究会

1 内　　容　(1) 会員企業の技術開発・製品設計課題に関する実験計画・評価法の研究討論及び課題指導
　　(2) 専門講師による講演
　　(3) 品質工学適用事例、テキストなどの解説・学習
　　(4) その他(基礎学習会、相談会など)
2 開催期間　平成19年5月～平成20年3月
3 開催日時　年10回(6月を除く毎月)、原則として第2木曜日(13:10～16:40)
　　(初心者対象の基礎学習会は6月12日(火)・19日(火)・29日(金))
4 会　　場　京都府中小企業技術センター　ほか
5 定　　員　40名程度
6 会の運営　若干名の幹事を置き、運営内容等について協議・企画します。
7 会　　費　17,000円／1人
　　(ただし、(社)京都経営・技術研究会会員は 14,000円／1人)
　　(社)京都経営・技術研究会が指定する口座に払込んでください。
8 申込方法　次の申込先あてＦＡＸ又は郵送によりお申込みください。
　　当センターホームページ(http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp)からもお申込みができます。
　　[申込先] (社)京都経営・技術研究会
　　〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館5階
　　電話:075-312-0418 FAX:075-312-0425 E-mail:kmt-soc@mail.joho-kyoto.or.jp
　　[申込締切日] 5月24日(木)　＊年度途中の入会も可能です。

第１回の定例会

日　時　平成19年５月31日(木)　13時10分～17時
場　所　京都府中小企業技術センター　5階研修室
内　容　発足会
　　特別講演「品質工学が目指すものは何か」
　　品質工学会　副会長　**原 和彦** 氏

品質工学は、製品開発や技術開発の効率向上に多大な効果を発揮します。本講演では品質工学の本質や考え方を解説いただくとともに、適用事例をご紹介いただきます。

基礎学習会(初心者対象)

日　時　平成19年6月12日(火)・19日(火)・29日(金)　10時～17時
場　所　京都府中小企業技術センター　５階研修室
内　容　品質工学の基礎概念とパラメータ設計(実習を含む。)

※研究会の詳細はホームページ→http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/sem/quaをご覧ください。

【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
基盤技術室 機械設計・加工担当
TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497
E-mail:qe@mtc.pref.kyoto.lg.jp

京都府中小企業技術センター協力会
2006年度「M&T交流会」開催

京都府中小企業技術センター協力会は、会員相互の交流と情報交換の場として、毎年「M&T交流会」を行っており、平成18年度は2月26日(月)にホテルセントノーム京都にて開催しました。

今回のセミナーは、武蔵大学経済学部教授 高橋徳行氏をお迎えし、「中小企業の『育てる』経営～事業機会も人も技術も～」についてご講演いただきました。

セミナー終了後は、センター協力会正岡武志会長(朝日レントゲン工業(株)会長)のあいさつで交流会を開会。(財)京都産業21が事務局を務める環(リング)の会中村圭二会長(NKE(株)会長)にもご出席いただき、センター協力会の枠を越え、参加者が和やかに情報交換されるなど、有意義な交流会となりました。

今回は、セミナーの概要を一部抜粋してお届けします。

「中小企業の『育てる』経営～事業機会も人も技術も～」

講師:武蔵大学経済学部
教授　高橋 徳行 氏

○中小企業に興味を持った理由

私の専門は、アントレプレナーシップです。大学卒業後、国民金融公庫(現:国民生活金融公庫)に入行し、初任地が大森支店でした。小さな町工場が集積する地域で、その中でウォークマン2号機の試作現場を見ました。全部ソニーが開発していると思っていましたが、実際は町工場でマシニングセンターを駆使していました。当時は、紙で操作するタイプでしたが、懸命に取り組む姿が、私が中小企業に興味を持った原点でした。

事業規模に関わりなく、自社の特性を生かして着実に成長している様々な企業を少し紹介しましょう。

○地道な積み重ね、競争力の源泉

大阪府のA社は、「三角ようじ」という特殊な爪楊枝を生産しています。先が三角形となっており、歯垢を取り除くのに便利なタイプです。これを40年間かけて育ててきました。

愛知県のB社では、0.1PPMという驚異的な不良率を誇っています。7～8年前は10PPMというレベルでしたが、6～7年かけてここまで来ました。ここは、従業員の8割が女性で全部正社員です。連帯意識を醸成し、改善を進めています。

愛媛県のC社では、特産物の柚子を活用し、ポン酢醤油を開発しました。商圏拡大のため当地の出身者を糸口に、長年かけて10万人の顧客リストを持つに至っています。

次に東京都の3社を紹介します。製造現場に女性が多いD社では、月に1度、金曜日の午後3時から誕生会を行うなどして、現場のコミュニケーション機能を高めることで、地道に人を育てる活動を続けています。E社は、山形県に進出されました。工場稼働の5年前から地元山形での採用を行い、東京の工場で研修を積ませ、スムーズな立ち上げを図られました。F社では、昔は映画用のアルミリールを作っていました。その後、ハードディスクの製造などを経て、今は警官用警棒などを製造しています。警棒は常時身につけているため、軽量化が望まれるもので、アルミは重宝されています。時代のニーズにマッチした製品を見つけて製造しています。

○成長には人手の確保と育成が大切

企業は、人手については、相当に成長するまで苦労するものです。従業員20名規模までは地縁血縁などでの採用ができますが、それを超えると労働市場から確保せざるを得ません。人材の確保をどう乗り切るかが成長の秘訣です。

大分県のG社では、人気焼酎発売以降、急成長しました。急進する中で、中間管理職が不足し、現場が混乱しました。そこで、メインバンクの地方銀行に依頼し、若い人材の供給を求め、今の常務を中心に徹底的に組織の育成を進められました。

島根県のH社は、一人の従業員を雇い、生活指導から始め7年かけて、やっと一人前の勤務ができるようにしました。社長に対しても、鋭い視点で建設的な意見を直言するように育ったその彼が、シリコンの灰皿をヒントにインソールの開発に着手。それで、国際特許をとられ、会社の収益源となっています。

○意外に伝統的、若い急成長企業

昔は会社で、上司の誘いは断らないもので、断る場合はそれなりの理由をつけたものでしたが、最近は単に行きたくないなどとストレートにものをいう人が増えています。

しかし、新しい企業でも伝統的な人づきあいは健在で、例えば、六本木ヒルズにあるI社では、従業員の机の上に風船が浮かぶことがあります。誕生日があると風船を立てて、おめでとうの声かけをきっかけにコミュニケーションを育てています。また、新宿にあるJ社は、社長自身が細かく社内のつきあいをして、全社員と直接会話することを大切にされています。社長として伝えたいことはそんなに複雑ではないのですが、同じ言葉を発しても、なかなか自分の意図しているように伝わらないものです。真意を伝えるためには、face to faceで直接会っているかが重要なポイントで、人材育成の柱とされています。

人材投資は、流出するリスクも伴います。K社というヘリコプターパイロット養成学校は、指導教官の高い定着率に、イギリスやアメリカの同種の学校から、注目が集まっています。教官の養成のためには、多額の経費が必要であるにもかかわらず、教官の定着策は難しいからです。ここの秘密は、コミュニケーションを大切にすることです。大企業でもMBA(Master of Business Administration)を取得後すぐの退職が頻発していますが、研修から帰ってきた時に疎外感を感じるのが原因ともいいます。

○まとめ

企業が永続的に成長を続けるためには、長期間かけて競争力のある何かを築きあげることが肝要です。また、社内管理を進めるためには、伝統的なコミュニケーションをうまく取り入れ、社内の和を育てましょう。人材育成は、時間とコストがかかる投資ですが、中小企業は独自性を生かして、ユニークな人材育成が出来ます。研修中の人との連絡を密にし、積極的に取り組まれ、大いに発展されることを期待します。

センター協力会の入会について

当協力会は、随時入会の受付をしております。
お申し込みは、下記 URL からお願いします。
http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/cen/rel/coo

【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
企画情報室
TEL:075-315-9506　FAX:075-315-1551
E-mail:ck-kai@mtc.pref.kyoto.lg.jp

けいはんな から新しい風を！
“「けいはんな」におけるニッチな産業は?:「トイレット科学」から見てみると”

日本原子力研究開発機構 関西光科学研究所 所長 の田島俊樹氏に上記のテーマで寄稿いただきました。京都府中小企業技術センターけいはんな分室では、けいはんな新産業創出･交流センターと連携して「21世紀の新産業の創出に向けた課題」解決に向けた活動を産業界の皆様と一緒に進めて行きたいと考えています。

先日(2006年11月27日)、第10回関西科学技術セミナーで「トイレット科学」という演題で「テーマ別講演」をする機会を与えられた。私は、その中で21世紀の科学は20世紀までの科学の延長線上にはあり得ないことを指摘した。これは、20世紀までの科学があまりに成功しすぎたために人類の持つ技術が強力になりすぎて、いままで人間が無視できると思って利用してきた技術の影響が、地球全体を変えつつあると考えられるからである。このことを指して、科学で享受する上流(キッチン)周りの技術群を発展させては来たものの、それが生み出す下流(トイレ)周りについては(例外はあるものの)なおざりにされる傾向が強いという現れから、「トイレット科学」の奨めを述べたのだった。

良く聞く言葉に、「もう主たる法則や原理は全て発見されていて、これからはそれを応用するだけだ。」というのがある。私は、それを信じない。そうではなく、「簡単に解決できる問題は、大概解決のメドはついたが、廃棄物の処理(例えば、自動車や工場のそれとか、原子力の放射性廃棄物など)などといった難しい問題は未だこれから」というのが真相だと思っている。

「けいはんな」という古来から知的伝統があり教育水準が高く、ハイテクが育つ土壌で新しい産業を興そうという場合、皆がやさしいと思う課題の尻馬に乗るよりも、あえて後者の、未だ解決は見えていないものの、21世紀には必ず必要とされる「トイレット科学」やその技術の追究に糸をたれて見るのも良いのではなかろうか？

自動車の排気ガス触媒では、当研究所はダイハツと共同で研究し、「自己再生型の排ガス触媒ペロブスカイト型」の機構の解明を大型放射光のX線による解析で明らかにしたが、この仕事が、ダイハツ経営陣のこの触媒の市場投入への決断の一因となったとされている。ダイハツの技師は、今は自動車は排ガスを街にまき散らしてして走る都市の環境汚染機械であるが、もしかしたら(遠い将来かも知れないが)、都市の汚れた空気を吸い込みエンジンと触媒を通過すると、吸引した時よりも浄化されているような(CO2は除く)「空気浄化装置」として開発したいという夢を語ってくれている。こうした考え方は、既に電機製品に現れはじめており、ある種の電気掃除機では部屋の汚れた空気をゴミと共に吸引する際に適切なフィルターの技術などで、排気はとり入れた空気よりもきれいになると言う。また、当所で研究中のある種の触媒は、放射線を照射すると電気を生ずる性質が有ることがわかっている。このため、こうした触媒を上手く使うと将来、短寿命の核廃棄物の回りにこれをかぶせるように配置すれば、放射性物質はむしろ有益な電気生成体になるかもしれない。

当研究所が主務とする原子力の研究においても、始めに触れたように、「キッチン」サイド(エネルギーの生成とその利用)という面では1940年代のシカゴパイル以来、技術が良く発展してきている反面、「トイレット」サイド(核廃棄物を減量してその毒性を無くし、処分する事)の技術やそれを支える科学は、未だ今後の研究を待たねばならない。私は、こうした「トイレット科学」を進める中から、今までの人類があまり遭遇して来なかった種々の発見や知見が出てくるであろうと思っている。上記の放射能から直接発電するかもしれない触媒もその一例だが、有毒物と無毒物を分別する技術体系の確立はもっと根本的なものと思う。家庭の主婦(主夫？)がゴミの処理時に第一にすることは、ゴミの分別である。原子力の世界や他の産業等における廃棄物についても同様である。ただ原子力の場合には、同位体という元素としては(つまり化学的には)同一であっても、物理的に(例えば放射性毒性が有るか無いかなど)異なった物質を仕分けることが、極めて重要である。しかし普通、物質の分別は化学的組成の違いで行うため、同位体分別には不適である。当研究所が専門的に研究している短パルスのレーザーという技術を巧く使うと、同位体の効率の良い分別ができるかも知れない。こういう発想は、我々が始めるまではなかったオリジナルな発想ではないかと思っている(20年ほど前に定出力のレーザーで行う企てがあったが、これは効率が悪いことが分かっていた)。こうした方法がいわば「トイレット科学」の一例で、易しくはない問題であるが、とても新鮮で希望に胸のふくらむ研究である。こうした短パルスのレーザーを巧く使いこなすと、稀少物質の検出とか分別･分析も出来るし、自然界の営みだけでは生成しない稀少物質の合成なども出来るであろう。

また、レーザーを巧く使いこなせると、今までの機械で加工していたより遙かに精度良く加工できる。こうしてより効率の良い機械(例えば、より排ガスの少ないエンジンの設計とか、より摩擦の少ない機械の表面加工とか)を作れる様になるのではないか？

こうした技術はようやく緒についたばかりである。これらの技術の推進と発展は、地球や環境に優しく、長い目で人類や国民の福祉にそうものであろう。「発見」の20世紀から「自己責任を果たす」21世紀への考え方の脱皮と言えまいか？当研究所は、地域の企業や研究機関の方々と手を携えてこうした技術の成長を注視していきたいと思う。

【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
けいはんな分室
TEL：0774-95-5027 FAX：0774-98-2202
E-mail：keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp

府内主要業界の景気動向について（平成19年１月～３月）

～景気は全体的に好調を維持しているが、業種・企業間に格差が開く～

当センターでは、このほど平成19年１月～３月における府内主要業界景気動向の調査結果を取りまとめました。調査時点は３月末で、主要業界について業界団体及び複数の企業ヒアリング結果を要約したものです。

※詳細は、http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/inf/inv/eco/07_01-03に掲載しています。

概況		電子部品等の業種で空前の好決算を見込む企業も多く、景気をリードしています。円安傾向で輸出関連業種に有利な状況ですが、企業の原材料・製品調達コストは上昇気味です。企業努力によりコストアップを吸収し、製品価格への転嫁は進んでいません。米国経済の先行きや競争激化など懸念要素はあるものの、電子業界の積極的経済活動が、経済全般を支えています。機械等は一服感のあるところも見られます。繊維染色は、和装販売の信販審査厳格化から沈滞しました。建設業は年度末に公共事業が増え、薄日が差しました。商業は、暖冬で重衣料・鍋物材料不振、春物衣料堅調、アクセサリー、飲食が好調で、全体として微増でした。観光では、暖冬の影響で京都市内高稼働、府北部も好調でした。ホテル等高稼働です。 景気は全体として好調ですが、特殊な材料の高騰・入手難が見られ、人件費のアップ圧力が潜行しています。
飲食料品	惣菜 京菓子	前年並みを維持しています。原材料価格は安定していますが、容器類等の副材料の値上がりが見られ、企業努力で吸収しています。つくりたて感のある温惣菜に人気が集まっています。 全体としては軟調で、企業間格差が激しいです。企業向け大口需要回復の兆しはなく、年中行事需要減少で構造的な厳しさが続いています。小豆は価格安定、砂糖は高騰、高止まり、容器は値上がりなど企業努力で吸収しています。
繊維染色	丹後織物 和装品 洋装品	丹後織物産地は、１～２月の生産が前年比71.2%を示し、厳しい減産です。 和装品では、西陣帯地、室町問屋、小幅友禅のいずれの分野も厳しく、経営環境は低迷しています。金襴のみ一部に動きがありましたが、市場が小さいので見通しは立て難い状況です。催事販売に代わる販売方法の模索は続いていますが、消費意欲は冷え込んでいます。信販会社の審査は厳しく、結果として販売が低迷しています。 洋装品では、西陣のネクタイは、競争激化、需要減等で厳しく、プリント服地、プリント服地染色、機械染色も厳しいです。一部、不織布関係染色に動きがみられました。
仏壇・仏具		長期にわたる消費不況と中国製品の流入により、消費動向が安価な方に向き、低迷が続いています。
印刷		景気回復を受けて需要が伸びていますが、単価面で苦戦が続いています。
電子部品		携帯電話、パソコン、デジタル家電など主な電子機器の生産が活況を呈しており、電子部品関係の生産・出荷状況は好調で、好決算を迎える企業も多いです。
機械金属	銑鉄鋳物 一般機械・産業用機械 輸送用機械 精密機械	銑鉄鋳物は、年初より一服感で軟調です。副材料が高騰し、業界として価格改善交渉を進めています。 産業用機械は、半導体製造装置はばらつきが見られます。金型はデジタル家電・電子部品関連を扱う企業に一服感が見られます。繊維機械は産業用繊維資材製造・加工設備を製造している企業では、好調を持続しています。電力設備関連は、民需施設関係が増え、好調です。 輸送用機械は、特に軽自動車が好調、自動車部品は改善が進んでいます。 精密機械は、自動車関連、環境関連、医療関連の計測、分析、検査機器等を中心に、好調を持続しています。
小売	百貨店 スーパー 商業施設・商店街	百貨店は、老舗百貨店閉店セール効果で、１月は前年比5.2%、２月は14.8%増と好調。冬物衣料・鍋材料は苦戦するも、春物衣料、アクセサリー、飲食等は好調でした。 スーパーは、衣類・鍋物材料は苦戦しました。飲料・酒は前年同期比微増気味。暖房器具・寝具は不振でした。 京都駅周辺商業施設、商店街では、老舗百貨店閉店セール効果で好調です。飲食も好調です。個々の差は大きいものの、市内中心部・周辺部とも改善が見られます。
観光		京都市内主要ホテルの客室稼働率は、暖冬で高稼働を示しました。土産物は好調ですが、コストアップで企業間格差が開いています。保津川下りは３月10日、４箇月ぶりに全面再開となり、今後が期待されています。
情報サービス		国内景気の力強さと企業設備投資の拡大を背景に、需要は高い水準にあり、商談数、実際の受注数とも良好に推移しています。良質な人材確保は競争が激しいです。
建設		厳しい状況ですが、年度末に公共事業が増えました。民間建設工事も増え、住宅の着工も増えています。ここに来て、職人の工賃単価の上昇圧力が強くなっています。

【お問い合せ先】
京都府中小企業技術センター
企画情報室
TEL：075-315-9506 FAX：075-315-1551
E-mail：kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

京都府中小企業融資制度の拡充について

○ 「小規模企業おうえん融資」(限度額1250万円)に、新たに融資限度額1250万円の「ステップアップ枠」を設け、小規模企業のさらなる成長・発展を支援します。(最大2500万円まで利用可能)
○ 京都府中小企業応援条例に基づく知事の認定を受けた中小企業等が、独自の「強み」(知的財産等)を生かした新たな事業展開を図るための融資制度(知的財産等活用[条例認定型])を創設しました。
○ 「あんしん借換融資」の実施期間を平成19年12月末まで延長するとともに、「経営支援特別融資」に緊急指定制度を設け、災害や大型倒産等の突発的事象の発生により影響を受ける中小企業を支援します。
○ 最近の金利動向等を踏まえ制度融資金利を改定しましたが、「小規模企業おうえん融資」、「和装産業取引改善等特別融資」は従来の金利水準を維持しました。

区分		制度名		対象者	融資期間	限度額	金利
府市協調融資	一般資金	一般振興融資(継続)		中小企業者・組合	運転7年 設備10年	有担保2億円 無担保8千万円	年2.8%以内(固定)
		小規模企業おうえん融資(拡充)	ベース枠	小規模企業者	運転5年	1250万円(保証協会の全ての保証付き融資残高を含み1250万円)	年1.7%
			ステップアップ枠		設備7年	1250万円(一般枠の無担保保証8千万円の範囲内で1250万円)	年2.0%
	緊急対策資金	経営支援特別融資(拡充)		売上減少の中小企業者・組合	7年	有担保2億円 無担保8千万円	年2.1%
			緊急指定制度	突発的事案の影響を受ける中小企業者・組合			
		あんしん借換融資(継続)		セーフティーネット保証の適用を受ける中小企業者・組合	8年	有担保2億円 無担保8千万円 (別枠)	年1.8%
			無担保 無保証人	上記のうち小規模企業者		保証協会の全ての保証付き融資残高(別枠)を含み1250万円	
	その他	和装産業取引改善等特別融資(継続)		和装関連業者	7年	2億円	年1.7%
		中小企業再生支援融資(継続)		再生を図る中小企業者・組合	原則10年	2億円 他	金融機関所定金利
京都府政策資金		経営活力融資(継続)	設備投資	中小企業者・組合	10年	1企業8千万円 1組合1億6千万円	設備一般 年2.3% 災害復旧 年2.1% (小規模)年1.8%
			雇用促進		10年 他	1企業8千万円 1組合1億6千万円 他	年1.8% 障害者雇用、ジョブパーク利用は年1.7%
		中小企業成長促進融資(拡充)	開業促進		運転5年 設備7年	1500万円 他	年1.8%
			成長支援			1企業8千万円 1組合1億6千万円	
			知的財産等活用[条例認定型]				

【お問い合せ先】
京都府産業支援センター
お客様相談室
TEL:075-315-8660 FAX:075-315-9091
E-mail: okyaku@ki21.jp

受発注あっせんについて

このコーナーについては、事業推進部　市場開拓グループまでお問合せください。
なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。
市場開拓グループ　ＴＥＬ.075−315−8590　（本情報の有効期限は6月10日までとさせていただきます）

本コーナーに掲載をご希望の方は、市場開拓グループまでご連絡ください。掲載は無料です。

発注コーナー

業種No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	必要設備	数量	金額	希望地域	支払条件	運搬等・希望
機−1	自動化・省力化機械部品の切削加工・板金加工（アルミ、鉄、ステン等）		京都市南区 1000万円 15名	汎用・NCフライス、汎用・NC旋盤、MC等関連設備一式	多品種小ロット（1〜100個）	話合い	近畿圏希望	月末日メ 翌月末日支払、 10万円超手形120日	運搬受注側、材料支給無し、継続取引希望
機−2	自動化機械のオートCADによる機械設計		京都市南区 1000万円 15名	オートCAD	話合い	話合い	不問	月末日メ 翌月末日支払、 10万円超手形120日	運搬受注側、継続取引希望
機−3	精密機械部品	切削加工	京都市南区 1000万円 30名	MC、NC旋盤、NCフライス盤他	話合い	話合い	不問	月末日メ 翌月末日支払、 全額現金	運搬受注側持ち、継続取引希望
機−4	精密小物部品	切削加工	京都市伏見区 500万円 18名	小物NC旋盤	10〜30個	話合い	不問	月末日メ 翌月25日支払、 全額現金	運搬受注側持ち、材料支給有償、継続取引
織−1	ウェディングドレス	裁断〜縫製〜仕上（ミシン縫製）	京都市中京区 9600万円 130名	関連設備一式	10〜50着/月	話合い	不問	25日メ 翌月10日支払、 全額現金	運搬片持ち、継続取引希望、内職加工先持ち企業・特殊ミシン（メローかけ）可能企業を優遇
織−2	ウェディングドレス	裁断〜縫製	京都市右京区 10億7159万円 230名	関連設備一式	10〜50着/月	話合い	不問	月末日メ 翌月末日支払、 全額現金	継続取引希望、運搬発注側持ち

受注コーナー

業種No.	加工内容	主要加工（生産）品目	地域 資本金 従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機−1	各種産業用機械の製缶〜加工〜組立〜電機配線・制御盤		京都府久御山町 300万円 6名	半自動溶接機、アルゴン溶接機、汎用フライス、2.5tフォークリフト	話合い	隣接府県	1.5tトラックで運搬可能
機−2	MC・汎用フライスによる精密機械加工（アルミ、鉄、ステン、チタン他）	半導体関連装置部品、包装機等	京都市南区 300万円 5名	立型MC3台、汎用フライス4台、CAD／CAM1台、汎用旋盤1台他	試作品〜量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能
機−3	精密金型設計製作、プレス加工（小物部品）中心に治工具、機械部品、板金加工等に力を入れています。	半導体関連装置部品・電機部品の精密機械加工・精密金型設計製作（アルミ、ステン、鉄、銅他）	京都府久御山町 600万円 9名	縦型MC、フライス、成形平面研削盤、自動プレス（25〜80t）、縦型スケールミル、タッピング、横型タッピングボール盤、投影機、CAD/CAM他	話合い	京都府内	経験30年、お客様のニーズを取り入れた金型の設計製作から金型の部品加工また機械加工においても全て内部で行い、お客様に提供しています。
機−4	産業用機械部品の小物MC加工（溶接対応可能）、アルミ・SUS・鉄他		京都市南区 600万円 1名	マシニングセンター、NC旋盤他	話合い	京都・滋賀・大阪	継続取引希望
機−5	液晶製造装置・産業用ロボット・省力化装置等精密部品の切削加工・溶接加工一式（アルミ・鉄・ステン・真鍮）		京都市南区 500万円 21名	汎用旋盤5台、NC旋盤3台、汎用フライス3台、MC6台、アルゴン溶接機5台他	単品〜中ロット	不問	運搬可能、切削加工から真空機器部品のアルゴン溶接加工までできる。
機−6	金属部品の精密切削加工（AL、SUS、SSなど）	工作機械部品、車輌部品、油圧部品、電機部品	京丹後市弥栄町 3600万円 20名	NC旋盤、マシニングセンター各12台	中〜大ロット	不問	高品質、高い技術、豊な人間性をモットーに、NC旋盤、マシニングセンターにより、車両・電機・機械など金属部品加工をしています
機−7	小物機械部品の旋盤加工、穴あけ加工		京都市山科区 個人 1名	旋盤6尺、卓上ボール盤	話合い	不問	継続取引希望
機−8	パーツ・フィーダ設計・製作、省力機器設計・制作	パーツ・フィーダ製造、産業機器・省力機器製造	京都府宇治市 個人 1名	縦型フライス、ボール盤、メタルソー、半自動溶接、TIG溶接、コンタ、CAD、その他工作機械	話合い	不問	パーツ・フィーダ製造から組立て機械、電気配線まで自動機のすべてを低コストにて製作致します。
機−9	一般切削加工、ワイヤーカット加工	弱電部品のプレス金型設計製作	京都府亀岡市 個人 1名	ワイヤーカット放電加工機、立フライス盤、卓上ボール盤、成形研磨機他	話合い	不問	継続取引希望

機－10	電線・ケーブルの切断・圧着・圧接・ピン挿入、ソレノイド加工、シールド処理、半田付け、布線、組立、検査	ワイヤーハーネス、ケーブル、ソレノイド、電線、コネクタ、電子機器等の組立	京都市下京区 3000万円 80名	全自動圧着機(25台)、半自動圧着機(50台)、全自動圧接機(15台)、半自動圧接機(30台)、アプリケータ(400台)、導通チェッカー(45台)他	少ロット(試作品)～大ロット(量産品)	不問	経験30年、国内及び海外に十数社の協力工場を含む生産拠点を持ち、お客様のニーズに応えるべく、スピーディでより低コストかつ高品質な製品の提供を心がけております。国内・海外で短納期に対応可能
機－11	ユニバーサル基板、ケース・BOX加工組立配線、装置間ケーブル製作、プリント基板修正改造		京都市伏見区 個人 1名	組立・加工・配線用工具、チェッカー他	単品試作品～小ロット	京都府内	経験32年。性能・ノイズ対策を考えた組立、短納期に対応、各種電子応用機器組立経験豊富
機－12	プリント基板実装		京都市山科区 個人 1名	ボール盤、自動半田付け装置、リードカッター、クリーンコータ(間欠噴霧式スプレーフラクサ式)	話合い	不問	継続取引希望
機－13	金属製品塗装	紛体塗装 焼き付け塗装	京都府宇治市 1000万円 3名	塗装ブース3500×3000×3600、乾燥炉2340×2500×1800、粉体塗装機、ホイスト、フォークリフト他	話合い	京都府南部地域・滋賀県	経験33年
機－14	精密機械部品の研磨加工(手研磨)		京都府久御山町 300万円 1名	フラットラッピングマシン、半自動レンズ方式	話合い	不問	継続取引希望
機－15	機械設計(CAD 図面作成)		京都府亀岡市 個人 3名	MicroCadam、SolidMx、オートCAD	1900円/時間以上希望	近畿府県	
機－16	アルミ材のプレス加工・板金加工～アルマイト表面処理		京都府八幡市 5000万円 30名	プレス機、深絞り用プレス、油圧プレス機、自動アルマイト処理設備一式(硫酸皮膜・蓚酸皮膜対応)他	話合い	不問	全て自社工場内で行い、お客様にアルミ加工技術をご提供したいと考えております。
機－17	SUS・AL・SS板金・製缶、電子制御板等一式組立製品出荷まで	SUS・AL・SS製品、タンク槽、ボイラー架台等、大物、小物、設計・製造	京都府南丹市 1000万円 8名	ターレットパンチプレス、シャー各種、ベンダー各種、Tig・Migアーク溶接機各5台以上、2.8tクレーン2基、1t3基、フォークリフト2.5t2台、その他	話合い	不問	2t車、4t車輌、継続取引希望、単発可
軽－1	射出成型、直圧成型	電機、車輌、医療、精密機械、住宅等各種プラスチック	京都府久御山町 1000万円 6名	射出成型機(450t×1、300t×2、160t×2、75t×2、50t×1)、直圧成型機(100t×1、50t×2、37t×2、26t×1)	10～、10,000～	不問	多品種、少量生産、各種組立、特別管理産業廃棄物収集運搬
織－1	婦人服全般	仕上げ(縫製関係)、検査	京都市北区 300万円 8名	仕上げ用プレス他	話合い	話合い	
他－1	事務系プログラムソフト及びシステム構築	経理システム、在庫管理、商品管理、生産管理等	京都市西京区 個人 2名	コンピューター他関連設備	話合い	不問	メカトロ・自動機設計製作据付立上げまで一貫して対応、構内委託可能
他－2	製品の広告、デザイン、販促、マーケティング等企画制作、ホームページ製作、インターネット戦略	パンフレット、カタログ、DM、会社案内、HP、広告企画、DVD、ビデオ	京都市中京区 1000万円 5名	コンピューター、レーザープリンタ、スキャナ、コピー他関連設備	話合い	不問	製品を顧客にうまくコミュニケートするための広告デザイン&マーケティングをご提案します。格安料金で素早く制作いたします。お気軽にお問い合わせください。

クリエイティブ京都M&T
Management & Technology for Creative Kyoto

お知らせ
Information

取引適正化無料法律相談のご案内

「代金が回収できない」「取引先が倒産した」「不良品の賠償問題」など取引先とトラブルが生じた場合、どう対処すればいいのか？法的にはどうなるのか？

京都産業21では、製造委託等取引に関する法律相談や苦情・紛争及び経営活動で生じる様々な法的問題でお困りの中小企業の方に対し、顧問弁護士による無料法律相談を下記のとおり行っております。お気軽にご相談ください。

相 談 日 ● 毎月第2火曜日(13:30から16:00)
相談場所 ● 京都産業21　会議室
お申込み ● 相談は予約制となっております。事前に下記までご連絡ください。
所定の申込書をお送りしますので、相談内容を記載の上、お申込みください。

【お問い合せ先】 (財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ
TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail:market@ki21.jp

お問い合せ先：●財団法人 京都産業21 主催　●京都府中小企業技術センター 主催

日	名　称	時間	場所
May 2007. 5.			
22（火）	●貿易実務講座「見積から契約まで」	13:30～16:00	京都府産業支援センター 5F
22（火）	●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会（CAD・thinkdesign）	13:30～16:00	京都府産業支援センター 1F
23（水）	●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会（CAD・One Space Designer）	13:30～16:00	京都府産業支援センター 1F
24（木）	●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会（CAM・edge CAM）	13:30～16:00	京都府産業支援センター 1F
25（金）	●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会（CAD・CAE・SolidWorks+COSMOSWorks）	13:30～16:00	京都府産業支援センター 1F
29（火）	●貿易実務講座「決済条件と外国為替」	13:30～16:00	京都府産業支援センター 5F
31（木）	●京都品質工学研究会	13:10～17:00	京都府産業支援センター 5F

日	名　称	時間	場所
June 2007. 6.			
5（火）	●貿易実務講座「受渡条件と保険」	13:30～16:00	京都府産業支援センター 5F
11（月）	●京都産業21環の会（KSR）記念講演会	16:00～17:00	京都全日空ホテル
12（火）	●取引適正化無料法律相談日	13:30～16:00	京都府産業支援センター 2F
12（火）・19（火）・29（金）	●京都品質工学研究会 基礎学習会（初心者対象）	10:00～17:00	京都府産業支援センター 5F

専門家特別相談日
（毎週木曜日　13：00～16：00）
○事前申込およびご相談内容について、（財）京都産業21　お客様相談室までご連絡ください。
TEL 075-315-8600　FAX 075-315-9091

取引適正化無料法律相談日
（毎月第二火曜日　13：30～16：00）
○事前の申込およびご相談内容について、（財）京都産業21　事業推進部　市場開拓グループまでご連絡ください。
TEL 075-315-8590　FAX 075-323-5211

海外ビジネス特別相談日
（毎週木曜日　13：00～17：00）
○事前の申込およびご相談内容について、（財）京都産業21　海外ビジネスサポートセンターまでご連絡ください。
TEL・FAX 075-325-2075

インターネット相談実施中！

京都府中小企業技術センターでは、中小企業の皆様が抱えておられる技術上の課題をメール等でお答えしていますので、お気軽にご相談ください。

▶ **http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/consul/consul.htm**

平成19年6月1日

経済産業省所管　**商業統計調査が実施されます。**

我が国のすべての商業事業所（卸売業・小売業）が対象です。

皆様のご協力をお願いします。

問い合わせ先

京都府総務部統計課商業係［TEL:075-414-4495 FAX:075-414-4482］

メールマガジン「M&T NEWS FLASH」（無料）をご活用ください！

約1万5千人の方々にお読みいただいております京都府中小企業技術センターのメールマガジンは、当センターや(財)京都産業21、府関連機関が主催する講習会や研究会・セミナーなどの催し物や各種ご案内、助成金制度等のお知らせなど旬の話題をタイムリーにお届けしています。皆様の情報源として是非ご活用ください。

ご希望の方は、ホームページからお申し込みください。

▶ **http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/mtnews/get_mtnews.htm**

―知ろう　守ろう　考えよう　みんなの人権！―

京都府産業支援センター　http://kyoto-isc.jp/　〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

財団法人 **京都産業21**　http://www.ki21.jp
代表　TEL 075-315-9234　FAX 075-315-9240
けいはんな支所　〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7（けいはんなプラザ ラボ棟）
TEL 0774-95-5028　FAX 0774-98-2202
北部支所　〒627-0011 京都府京丹後市峰山町丹波139
TEL 0772-69-3675　FAX 0772-69-3880

京都府中小企業技術センター　http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/
代表　TEL 075-315-2811　FAX 075-315-1551
中丹技術支援室　〒623-0011 京都府綾部市青野町西馬場下38-1
TEL 0773-43-4340　FAX 0773-43-4341
けいはんな分室　〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7（けいはんなプラザ ラボ棟）
TEL 0774-95-5027　FAX 0774-98-2202

編集協力／石田大成社
R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています